

オンライン卓話 済生会川口総合病院 院長 佐藤 雅彦 様



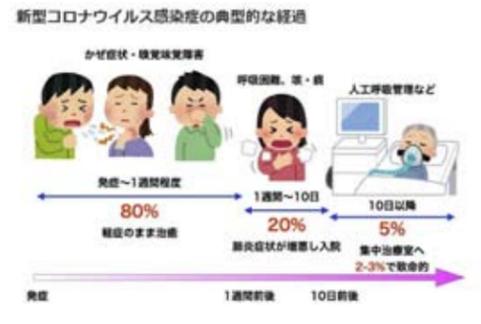
新型コロナウイルス感染症は 手ごわい疾患です

診断が難しい

- 感染しても発症しない場合がある
- 精度の高い診断手法がない
- 確立された治療法がない
- ワクチンがない
- 重篤化し死亡する可能性がある

新型コロナウイルスの症状

- 咳
- 痰
- 発熱
- 咽頭痛
- 倦怠感
- 呼吸困難
- 味覚障害・聴覚障害
- 下痢



COVID-19 に対する治療法

➤ 現時点では特異的な治療薬は存在しない
(対症療法のみ)

- 酸素投与
- 人工呼吸管理
- 細菌感染合併等で抗菌薬など

➤ 治療候補薬

- ①ロビナビル/リトナビル (カレトラ®)
- ②ファビピル (アビガン®)
- ③レムデシベル
- ④クロロキン、ハイドロクロロキン(プロケラル®)
- ⑤シクレソニド(オルベスコ®)
- ⑥ナファモスタット(フサン®)

抗ウイルス薬の対象と開始のタイミング

- 50歳未満:
自然治癒すること多く、必ずしも投与の必要なし
- 50歳以上、または、糖尿病・心血管疾患・慢性肺疾患、COPD、免疫抑制状態等がある場合:
重症呼吸不全を来す可能性が高く、死亡率も高いため、酸素投与が必要となった段階で投与を検討
- 年齢にかかわらず:
対症療法で呼吸不全が悪化する場合、投与を検討

感染症学会「COVID-19に対する抗ウイルス薬による治療の考え方(第1版)」



どうやって感染するの? “おもな感染経路”

「飛沫感染」

感染者の飛沫(くしゃみ、咳、つばなど)と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染します。



「接触感染」

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触ると粘膜から感染します。



PCR法

PCRはPolymerase Chain Reaction(ポリメラーゼ連鎖反応)の略で、ウイルスの遺伝子を増幅して検出する方法です。

PCR検査は、「検査対象となるそのウイルスに特徴とされるRNA遺伝子配列」を増幅させて、その存在を判断(診断)します。対象となるサンプル(検体)に含まれるウイルスの量(RNAコピー数)が、「目的のRNA配列」を増幅させるのに必要な量(検出限界のコピー数)以上であれば、増幅することができ、その存在を診断できます(陽性)。

抗体検査

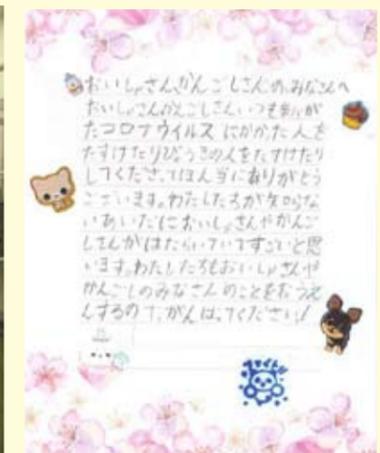
抗体とはウイルスが体内に入ってきた時にウイルスを体内から除去しようと身体が作り出すタンパク質です。ウイルスに結合することでウイルスを排除します。抗原・ウイルスが体内に入ってから数日から数ヶ月して抗体が作られます。

抗体を体内に持つことで、再度同じウイルスが体内に入ってきた場合も抗体がウイルスにくっついて排除してくれます。

一般的にIgM抗体の検出は感染症の初期を示し、感染症の診断に使用できます。IgG抗体は感染症の後期から徐々に現れ、その後、増加していくので、感染症の既往(かかった病歴があるか)の状態を診断できます。

抗原検査

新型コロナウイルスに特徴的なタンパク質(抗原)を調べる方法。約30分で判定が可能で、専用の器材は不要であるが、鼻の奥を拭いて検体採取する必要があるため検体採取の際に感染のリスクがある。PCR検査と比べると精度が落ちる。



消毒

- 菌やウイルスを無毒化すること
- アルコール
- 熱水
- 次亜塩素酸(塩素系漂白剤)
- 界面活性剤(洗剤)

除菌

- 菌やウイルスの数を減らすこと
- 手洗い

日常生活で気を付けること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触ったものにウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方に病気をうつす可能性がありますので、咳エチケットを行ってください。

持病がある方、ご高齢の方は、できるだけ人込みの多い場所を避けるなど、より一層注意してください。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。

発熱等の風邪の症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

↑厚生労働省「新型コロナウイルスを防ぐには」

手洗い、咳エチケットのくわえて、
「不要不急な外出は避ける」
「3つの密をさける」

マスクをしましょう
口、鼻、目に触れない
接触感染
会食・飲食・カラオケは注意
飛沫感染・エアロゾル